

## 平成28年度第3回市長定例記者会見

### 市長あいさつ及び説明要旨

平成29年2月20日

報道関係者の皆様には、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。平素より本市の様々な情報を市内外に精力的に発信いただくなど、本市の活性化にご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

また、先般の「故石垣正夫 前新見市長お別れの会」の開催に際しましては、一方ならぬご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、私が、市長に就任しまして間もなく2ヶ月が過ぎようとしております。この間、私なりに市政に取り組む方向を自問自答する中で、市政を担う者として、地方自治の原点であります「住民の 住民による 住民のための政治」という姿勢を持ち続けていかなければならないという思いを、改めて強くしているところであります。

こうした考えのもと、今後、市民総参加「オール新見」の市政を推進し、「第2次総合振興計画」「新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実現してまいりたいと考えているところであります。

本日は、新年度に向け、本市が取り組む主な事業及び3月市議会定例会へ提出する案件につきまして、説明させていただきますのでよろしくお願いたします。

本日の記者会見では、

- ・ 協働推進課の新設について
- ・ やる気×元気 にいみ地域応援事業について
- ・ すくすく発達見守り事業について
- ・ 公共交通空白地有償運送支援事業について
- ・ 新見市立中央図書館の開館について
- ・ 新見南認定こども園の開園について
- ・ スマートフォン用アプリ「新見まちナビ」の配信について

及び平成29年3月市議会定例会提出案件につきまして、ご説明申し上げます。

まず、「協働推進課の新設について」であります。

「オール新見」を合言葉に本市の地域創生に取り組む方向性を明らかにするとともに、まちづくりに関する市民などからの相談や提案にスピード感をもって対処するため、窓口となる部署を新設いたします。新設する部署は、総務部内に設け、名称は「協働推進課」とします。まちづくりの取組は多岐にわたり、1担当課だけでは対応できない場合もあることから、同課を新設することにより、窓口を明確にし、関係部署との連絡調整役を担わせることで迅速な対応ができるものと考えております。

次に、「やる気×元気 にいみ地域応援事業について」であります。

地域づくりは、地域住民が主役となって進めるべきと考えております。そのため、自分たちが暮らす地域の課題解決策や資源の活用方法などを地域住民自らが検討し、収益を得ながら解決や活用を目指す取組を支援いたします。これにより、地域コミュニティと地域経済の活性化に繋がってまいりたいと考えております。

次に、「すくすく発達見守り事業について」であります。

人口減少に歯止めをかけるためには、子育てがしやすい環境を提供していくことが必要と考えております。そこで、本年1月17日にソフトバンク株式会社と締結した包括協定に基づく事業のひとつとして、妊婦や子どもの健診データ、予防接種のスケジュールなどの管理が、スマートフォン上のできる電子母子健康手帳サービスを導入し、妊娠から出産、子育てまでの包括的な支援を充実させてまいります。

次に、「公共交通空白地有償運送支援事業について」であります。

本市では、民間路線バスへの補助金制度や市営バスの運行により、地域の公共交通の維持を図っているところですが、新たに、地域団体やNPO法人などが、道路運送法の規定による登録を受け、公共交通空白地有償運送を行おうとする場合に、その初期投資及び運営経費の一部を補助することといたします。これにより、地域の実情に配慮した、きめ細かい輸送サービスの構築に繋がってまいりたいと考えております。

次に、「新見市立中央図書館の開館について」であります。

まなび広場にいみ内への移転を進めてまいりました新見図書館は、愛称を「まなびの森新見図書館」として、4月1日に開館いたします。

新しい図書館には、飲み物を飲みながら読書ができる空間や子どもたちが自由に本に親しむことができるスペースを設けているほか、一人での利用やグループ利用といった様々な利用を想定し、形や大きさが異なる読書テーブルを配置し、“楽しさや憩い”を感じながら読書をしていただけます。

また、閉館時間を20時までに延長することで、仕事帰りの社会人など幅広い年代層が、生涯を通じた“学びの場”として利用していただけるものと考えております。

今後、市民の皆さんに運営に関わっていただく組織を立ち上げていくことも考えており、多くの方に来館いただける施設となることを願っております。

次に、「新見南認定こども園の開園について」であります。

旧正田幼稚園跡地に整備を進めてまいりました「新見南認定こども園」が今月末に完成し、4月1日に開園いたします。市南部地域における子育て施設が充実することで、少子化の歯止め策のひとつとなるものと考えております。

次に、「スマートフォン用アプリ『新見まちナビ』の配信について」  
であります。

これまでの公式ホームページによる情報発信に加えて、スマートフォン用の無料アプリ「新見まちナビ」を配信し、ホームページと連動した情報提供を行ってまいります。アプリのプッシュ通知機能を活用して、イベントや防災などの情報発信力の強化に繋げてまいりたいと考えております。

このほか、3月市議会定例会へ提出する案件につきましては、この後、担当者からご説明いたします。

私の方からは以上です。